



2022年9月16日

EEI5号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合へのLP投資について

- ・ Society5.0の実現に向け、地球温暖化対策を成長につなげる新規事業の創造の推進
- ・ 脱炭素領域におけるディープテックへの投資
- ・ 脱炭素領域のスタートアップ・エコシステムの形成

株式会社産業革新投資機構（本社：東京都港区、代表取締役社長：横尾敬介、以下「JIC」）は、株式会社環境エネルギー投資（本社：東京都品川区、代表取締役社長：河村修一郎、以下「EEI」）が運営するEEI5号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合（以下「EEI5」）に対しLP投資を行うことを決定しましたのでお知らせします。

JICはオープンイノベーションによる企業の成長と競争力強化に対する資金供給を通じて民間投資を促進するとともに、投資人材の育成等を行い、我が国の次世代産業を支えるリスクマネーの好循環の創出をミッションとしています。

JICはミッション達成のため、民間ファンドへのLP投資や傘下のファンドによる投資を通じて政策的に意義のある事業分野への投資を行います。

EEI5に対するLP投資について

JICでは、投資戦略に基づき民間ファンドへのLP投資を行っており、今回、EEI5に対し30億円の出資を約束するLP投資契約を締結しました。

（1）背景

JICの投資基準*においては、「Society5.0に向けた新規事業の創造の推進」が重点投資分野として挙げられており、具体的には「AI、IoT、ロボットなど第四次産業革命に関する技術の社会実装のほか、バイオ・創薬・ヘルスケア、モビリティ、宇宙、素材、電子デバイスなどの国際競争力を持ちうる事業分野への長期かつ大規模なリスクマネー供給」が必要とされています。

*<https://www.j-ic.co.jp/jp/investment/criteria/>

現在、世界では120以上の国と地域が「2050年カーボンニュートラル」という目標を掲げる中、日本政府や企業において、これを踏まえた大胆な投資が相次ぐなど、気候変動問題への対応を成長の機会と捉える国際的な潮流が加速しています。日本においてもSociety5.0、2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、脱炭素領域の革新的なイノベーションの創出が不可欠であり、当該領域における日本発の革新的な技術を活用した新規事業の創造が期待されています。

(2) EEI5について

EEI5は、日本で環境エネルギー特化型ファンド運用会社として創業したEEIによって運用されているファンドです。

EEI5はEnergy Transition、Mobility & Transportation及びSmart Societyの3つの投資領域を設定し、当該領域で脱炭素を中心に持続可能な社会の実現に貢献する革新的なビジネスモデルや技術を有するスタートアップに対して投資を行います。スタートアップの全ステージを投資対象としていますが、シード・アーリーステージへの投資を主として、ミドル・レイターステージへのフォローオン投資も積極的に行う予定です。

JICは、EEI5へのLP出資により、①Society5.0の実現に向け、地球温暖化対策を成長につなげる新規事業の創造の推進、②脱炭素領域におけるディープテックの研究開発とその社会実装に向けた、民間投資資金の不足の補完、③脱炭素領域のスタートアップ・エコシステムの形成に向けて、JICがアンカー投資家として支援することにより、国内の他社GP、事業会社、機関投資家に、脱炭素領域への参入を促していくなど、民間リスクマネーの呼び水効果となることも期待しています。

<EEI5>

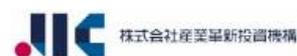
名称 : EEI5号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合
設立 : 2022年9月
存続期間 : 10年間（最長2年間の延長が可能）
GP : EEIGP5有限責任事業組合

<運用会社概要>

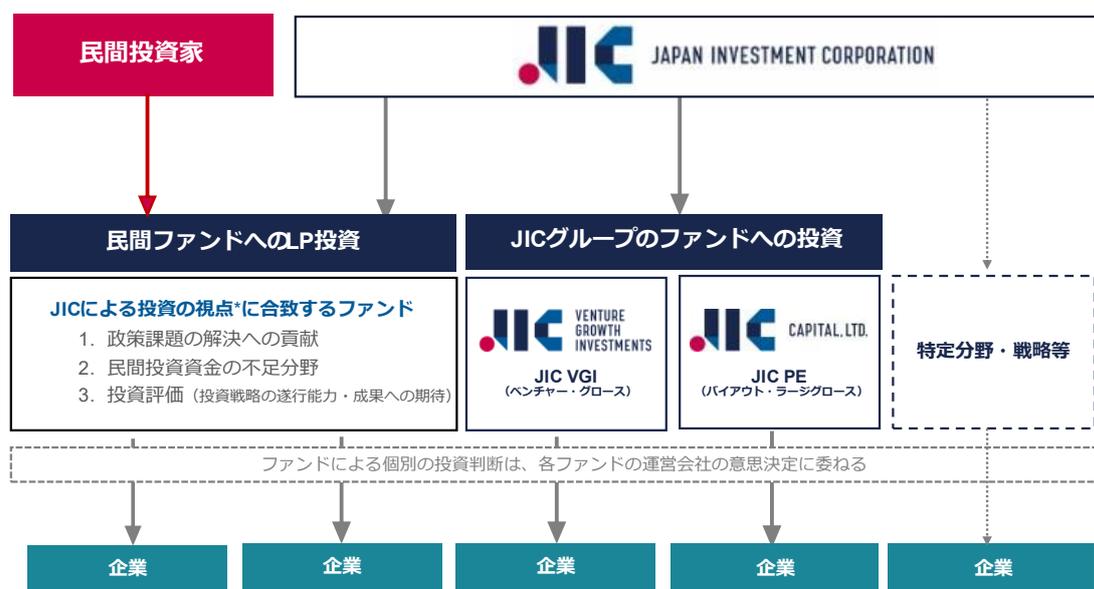
名称 : 株式会社環境エネルギー投資
設立 : 2006年3月
所在地 : 東京都品川区
代表取締役 : 河村 修一郎

(参考) JIC のファンド投資戦略

JICの投資戦略



- JICは、経営理念に基づき、民業補完の原則の下、ファンドへの投資を通じて、オープンイノベーションによる企業の成長と競争力の強化に向けたリスクマネー供給を行います。



*上記視点に加えて、募集状況、ファンド（運用者）の成長段階JICの役割・ポートフォリオ等の観点を総合的に勘案する。

(C) JIC. All Rights Reserved.

(参考) JIC の LP 投資のねらい

(1) 企業の成長と競争力強化に向けたリスクマネー供給の「呼び水」

産業競争力強化の観点から重要であるものの、民間投資資金が不足している分野（投資戦略、セクター、ステージ、地域等）への資金供給を行い、短期及び中長期的な民間投資資金の「呼び水」となることを企図します。

(2) リスクマネーの好循環を支える多様な投資チーム・投資人材・投資戦略の創出

①投資チーム

JICからの投資を通じて、ファンドの運用チーム（運用会社）の経験値とトラックレコードを積み上げ、投資家への対応力を上げることで、次号ファンド以降機関投資家（年金・海外投資家等）からのリスクマネー仲介の担い手としての成長を促進します。

②投資人材

JVCA（一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会）等の業界団体、機関投資家、投資先運用者の協力を得ながら、運用者におけるベストプラクティスの研究・導入、投資人材の育成を支援します。

③投資戦略

日本に定着している戦略以外の戦略でも、ファンド設立等に対し JIC が LP 投資することで市場に多様性と厚みを付加します。

株式会社産業革新投資機構（JIC）について

JICは2018年9月、産業競争力強化法に基づき発足した投資会社です。JICは、Society5.0に向けた新規事業の創造の推進、ユニコーンベンチャーの創出、地方に眠る将来性ある技術の活用、産業や組織の枠を超えた事業再編の促進、を重点投資分野としています。これらの分野に対し、傘下のファンドや民間ファンドへのLP投資を通じてリスクマネーを供給することで、我が国におけるオープンイノベーションを推進し、我が国産業の競争力強化や投資エコシステムの拡大に貢献することを目指しています。

<本発表資料に関するお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報 奥村、野々宮（報道関係）

東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア

電 話：03-5532-7086（広報直通） URL：<https://www.j-ic.co.jp/jp/>